

【 第21回 女子ジュニア世界選手権 】

2018年6月29日～7月15日 開催地:ハンガリー

試合結果報告 7月8日 (日)

JPN	VS	PAR(パラグアイ)
19	前半	13
17	後半	7
36	合計	20

個人得点

名前	前半	後半	合計
3 高木 奈央		1	1
4 辻野 桃佳			0
26 榎 和奏			0
27 松浦 志織		1	1
28 並木 梨紗	1		1
29 大松 澤彩夏	1	2	3
31 鈴木 姫らら		2	2
32 金城 ありさ	2	4	6
33 安藤 かよこ	2	2	4
34 南 夏津美		1	1
35 中山 佳穂	3		3
36 相澤 菜月	6	1	7
37 舟久保 朱音			0
39 笠井 千香子	2		2
40 笠 泉里		1	1
41 金山 桃歌			0
42 尾辻 素乃子			0
51 吉留 有紀	2	2	4
	19	17	36

戦評

予選リーグ最終戦は初出場のパラグアイと対戦。立ち上がり日本はDFから速攻で得点を重ね、前半11分7-2と好調な滑り出しをみせる。しかし、パラグアイの小気味良いフェイントやタイミングを外したミドルに得点を許し、一進一退の攻防が続く。前半21分の時点で12-8。再びGK・榎のセーブを含めDFから速攻で流れをつかむと6連取で一気に突き放し、26分には18-8とする。さらにリードを広げたい日本であったが、退場者を出すなどして流れはパラグアイに。流れを変えたい日本はラストワンプレーで7人攻撃を選択するが、ミスから無人ゴールへ放り込まれ19-13となってしまう、後味の悪さが残る前半となった。

後半立ち上がり、日本の武器であるDFから速攻で得点を重ねた日本は、6連取で突き放しに成功し、後半6分で25-13とリードを広げる。その後、途中出場のメンバーが躍動し、リードを広げていく。終わってみればコートプレーヤー全員得点という快挙で試合を終えた。

この勝利により、決勝トーナメント進出が決定。決勝トーナメントでも、DFから速攻という日本の武器を前面に出しきり戦っていきたい。

報告記入者 :

新井翔太